

2020年度 林野庁補助事業

『「木の文化」の発信・「木のおもてなし」の提案』事業 モデル地域
(ワークショップ等開催・プロモーション映像製作)
本日より募集開始

(公社)国土緑化推進機構と(株)ユニバーサルデザイン総合研究所は、2018年度より林野庁補助事業により、日本が培ってきた「木の文化」とそれを活かした多様な「木のおもてなし」について、主に来日観光客等の視点から再評価し、新たな形の「木の文化」と「木のおもてなし」の創造・発信を目指す取り組みを進めています。

2018年度には、基本的な考え方や視点、展開モデル、参考事例を紹介した「ガイドブック」を制作するとともに、モデル的な「コンセプト映像」、検討委員の「特別インタビュー映像」を制作し、2019年度には、「木のおもてなし」を試行体験するモデル的な「ワークショップ」の開催や「プロモーション映像」の制作、検討委員である隈研吾氏、デービット・アトキンソン氏、涌井史郎氏による「公開座談会」を開催しました。

農山村地域における「木の文化」を活かした「木のおもてなし」の推進を目的として、これまで多数のインバウンド・国内旅行等の来訪実績がある「木のおもてなし」体感施設等との連携・協働により、①現地への誘客を目的としたモデル的なワークショップ等の実施や、②誘客等に継続的に活用できる「プロモーション映像」の制作に取り組む「モデル地域」を募集します。

「木の国」である日本で、新たな地域の魅力を引き出す取組を支援していきたいと考えていますので、是非、貴社の媒体でご紹介頂きますよう、お願い致します。

■ 「木の文化」の発信・「木のおもてなし」の提案事業 特設ページ ■

<http://www.green.or.jp/topics/omotenashi/>

(今年度の「募集要項」や、過去に制作した「ガイドブック」「映像」等を掲載しています)



2018 ガイドブック



2019 ガイドブック



プロモーション映像



公開座談会 映像

《本件に関するお問い合わせ先》

- ◆ (公社)国土緑化推進機構 政策企画部 (担当: 木俣・富永)
Tel : 03-3262-8437 Fax : 03-3264-3974 E-mail : fore-sapo@green.or.jp
- ◆ (株)ユニバーサルデザイン総合研究所 (担当: 高橋)
Tel : 03-6550-8360 Fax : 03-6550-8361 E-mail : omotenashi@udinet.com

2020 年 6 月吉日

各 位

2020 年度 林野庁補助事業
『「木の文化」の発信・「木のおもてなし」の提案』事業 モデル地域
(ワークショップ等開催・プロモーション映像製作)
募集周知のお願い

(公社)国土緑化推進機構
(株)ユニバーサルデザイン総合研究所

平素より大変お世話になっております。

さて、(公社)国土緑化推進機構と(株)ユニバーサルデザイン総合研究所は、2018 年度より林野庁補助事業により、日本が培ってきた「木の文化」とそれを活かした多様な「木のおもてなし」について、主に来日観光客等の視点から再評価し、新たな形の「木の文化」と「木のおもてなし」の創造・発信を目指す取り組みを進めています。

2018 年度には、基本的な考え方や視点、展開モデル、参考事例を紹介した「ガイドブック」を制作するとともに、モデル的な「コンセプト映像」、検討委員の「特別インタビュー映像」を制作し、2019 年度には、「木のおもてなし」を試行体験するモデル的な「ワークショップ」の開催や「プロモーション映像」の制作、検討委員である隈研吾氏、デービット・アトキンソン氏、涌井史郎氏による「公開座談会」を開催しました。

そして、2020 年度には、これまでの成果を活かして、**農山村地域における「木の文化」を活かした「木のおもてなし」の推進を目的として、これまで多数のインバウンド・国内旅行等の来訪実績がある「木のおもてなし」体感施設等との連携・協働により、①現地への誘客を目的としたモデル的なワークショップ等の実施や、②誘客等に継続的に活用できる「プロモーション映像」の制作**に取り組む「モデル地域」を募集します。

是非、貴組織や関係機関等に周知、ご紹介いただきたく、お願い申し上げます。

《参考》

「木の文化」を活かした「木のおもてなし」のガイドブック・コンセプト映像や各種成果物は、本年度の「モデル事業実施地域」募集要項については、以下サイトに掲載しておりますので、こちらをご覧ください。

(国土緑化推進機構内 特設ページ)

<http://www.green.or.jp/topics/omotenashi/>



《本件に関するお問い合わせ先》

(公社)国土緑化推進機構 政策企画部 (担当：木俣・富永)

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 砂防会館別館 5 階

Tel：03-3262-8437 Fax：03-3264-3974 E-mail：fore-sapo@green.or.jp

(株)ユニバーサルデザイン総合研究所 (担当：高橋)

〒105-0004 東京都港区新橋 2-13-6 新橋 862 ビル 8F

Tel：03-6550-8360 Fax：03-6550-8361 E-mail：omotenashi@udinet.com

2020 年度 林野庁補助事業
『「木の文化」の発信・「木のおもてなし」の提案』事業 モデル地域 募集要項
(ワークショップ等実施・プロモーション映像制作)

～観光需要の開拓・地域材利用の促進・地方創生等に向けた取組を募集します～

(公社)国土緑化推進機構
(株)ユニバーサルデザイン総合研究所

- 1. 事業趣旨** (公社)国土緑化推進機構と(株)ユニバーサルデザイン総合研究所は、2018 年度より林野庁補助事業により、日本が培ってきた「木の文化」とそれを活かした多様な「木のおもてなし」について、主に来日観光客等の視点から再評価し、新たな形の「木の文化」と「木のおもてなし」の創造・発信を目指す取り組みを進めています。

2018 年度には、基本的な考え方や視点、展開モデル、参考事例を紹介した「ガイドブック」を制作するとともに、モデル的な「コンセプト映像」、検討委員の「特別インタビュー映像」を制作しました。2019 年度には、農山村地域で再編集・再整理した「木のおもてなし」を試行体験するモデル的な「ワークショップ」の開催や「プロモーション映像」の制作、検討委員による「公開座談会」を開催しました。

そして、2020 年度には、これまでの成果を活かして、農山村地域における「木の文化」を活かした「木のおもてなし」の推進を目的として、これまで多数のインバウンド・国内旅行等の来訪実績がある「木のおもてなし」体感施設等との連携・協働により、①現地への誘客を目的としたモデル的なワークショップ等の実施や、②誘客等に継続的に活用できる「プロモーション映像」の制作に取り組む「モデル地域」を募集します。

- 2. 対象組織** 本事業への応募対象となる組織は、以下の(1)または(2)、または(1)(2)と連携・協働した取組を実施できる(3)となります。

- (1)「木のおもてなし」体感施設等(※1)の管理・運営組織
- (2)農山村地域の地方自治体・業界団体・協議会等(※2)
- (3)(1)(2)と緊密に連携・協働して、継続的に「木の文化」を活かした「木のおもてなし」の体験機会提供や普及啓発に取り組む予定である団体・旅行者等

※1: 「木の文化」を活かした「木のおもてなし」の体感ができる歴史・文化施設、観光・交流施設、象徴的な宿泊・飲食施設、アンテナショップ等。以下①～③の要件をすべて満たす施設等であることを条件とします。

- ①(2)と緊密に連携・協働できること
- ②「木の文化」を活かした「木のおもてなし」を体感でき、本事業終了後も継続的に展示・ワークショップ等によりその普及啓発を行う予定があること
- ③これまで多数の観光客等の来訪実績があり、本事業終了後も継続的に、現地への誘客に向けたプロモーション等(展示・ワークショップ等)を行う予定があること

※2: (1)の施設等と緊密に連携・協働できることを条件とするともに、地域内で、以下①～③の関係者が連携・協働して、本事業終了後も継続的に「木の文化」を活かした「木のおもてなし」が実施できることを条件とします。

- ①「木の文化」の原材料を生産する地域の林業・木材分野の関係者
- ②「木の文化」を育む建築・家具・ものづくり分野の関係者(作り手)

- ③「木の文化」を広く社会に発信するチャンネルを有する観光・まちづくり分野の関係者、観光・交流施設の関係者、地域メディア等（伝え手）

3. 事業内容 本事業の選定者は、以下の事業を実施します。

（1）実施計画書の提出

以下の①～⑤について、本事業の実施に関わる関係者で協議・合意形成のうえ、「実施計画書」を作成、提出する。

- | |
|---|
| ① 地域内に集積された「木の文化」の再整理・再評価をした上で、その「木の文化」を活かす「木のおもてなし」のコンセプト等を検討、その訴求力等整理
② ワークショップ等の内容についての検討、課題や期待する効果等整理
③ 「木のおもてなし」体感施設等と連携した継続的なプロモーション手法や誘客戦略の検討、課題や期待する効果等整理
④ プロモーション映像を希望する場合は、その映像のターゲット・コンセプト・活用方法等の検討、課題や期待する効果等整理
⑤ 本事業の効果に関するアンケート等の実施手法の検討 |
|---|

（2）ワークショップ等の実施

以下に沿ったワークショップ等を実施する。

【募集】「木のおもてなし」体感施設等と連携して、本事業終了後も継続的に実施できるような多様なプロモーション手法（※）で参加者募集する。

※「木のおもてなし」体感施設等における展示・ワークショップ等と連動したツアーの紹介・斡旋、施設への訪問と一体となったパッケージツアーのPR・営業等

【時期】10月の「木づかい推進月間」を中心に開催することが望まれる。

※ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、弾力的に設定頂いて構いません。

【対象】概ね、延べ20名程度（※）

※1回あたりの参加人数は問いません。なお、インバウンドを意識したプログラム等となっていることが望まれます。

【内容】地域の「木の文化」を活かした「木のおもてなし」に関わるプログラム（以下の①～③）を、ストーリー立てて複数体験できるワークショップ等

- | |
|---|
| ① 地域の「木の文化」の背景にある地域の森林・林業・木材産業の特色や、気候風土・歴史文化・民族風習・地場産業の状況等の特色の学び
② 「木の文化」の象徴的な施設・木製品等にふれあい、地域の「木のあ暮らし」の体験
③ 職人等による実演の見学、職人等との交流、クラフト体験等 |
|---|

【実施形態】以下の①～③のいずれか、あるいは組み合わせ。

① 拠点施設型	地域の「木の文化」を体感でき、多くの来訪者が訪れる象徴的な観光・交流施設や宿泊・飲食施設等の拠点施設での多様な解説・体験と一体的に、施設外の森林や工房等の視察、職人との対話やものづくり体験等を行うといった、地域の「木の文化」の“ストーリー”に面的に触れることができるワークショップ・ツアー等を提供するもの。 （例）歴史的木造建築物や老舗旅館、既存のものづくり体験
------------	---

	等を活用しつつ、新たな「木の文化」のコンテンツを追加したワークショップやツアーの実施など。
② 周遊ツアー型	地域の「木の文化」と関わりが深く、多くの来訪者が訪れる地域外の象徴的な歴史・文化施設、観光・交流施設等における多様なプロモーション等を通して、地域の「木の文化」の“ストーリー”に面的に触れられるツアーを提供するもの。 (例) 近隣・周辺エリアの人気観光地や象徴的な施設・文化財とそれに関連する木の文化を組み合わせた周遊ツアーの実施など。
③ 都市地方連携型	多くの来訪者が訪れる都市部の施設において、地域の「木の文化」に関する展示物の制作、ワークショップの開発等を行うことで、本事業終了後も継続的に現地への誘客に繋がれるようなプロモーション手法等を確立するもの。 なお、ワークショップ等は、現地での「木のおもてなし」体験プログラム・ツアー等への参加呼びかけと一体で行うこと。 (例) 都市部にある地域アンテナショップ等において、地域の「木の文化」に関するワークショップを実施し、あわせて「木のおもてなし」を体感するプログラム・ツアーのPRや募集と催行をするなど。

【備考】参加者にはアンケートを行うこと。

(3) プロモーション映像の制作（希望のある地域から2件程度選定）

都市部等、送客元となる地域・施設等で、「木の文化」を活かした「木のおもてなし」の特徴を紹介するためのプロモーション映像を制作する。

希望する場合、以下の①・②が行えることが条件。

- | |
|---|
| ① 映像制作に際して、取材対象者等の連絡調整
② 制作した映像の幅広い活用の働きかけ |
|---|

(4) モデル地域 担当者会議（オンライン）への参加

モデル事業実施地域に選定された地域の関係者向けに、「実施計画書」の提出に先立って、8月上旬に、①本事業の趣旨説明、②先進地域の取組紹介、③モデル事業実施地域の担当者同士の交流、④円滑かつ効果的な事業実施に向けたヒヤリング等を目的とした担当者会議を行いますので、ご参加下さい。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインの開催を予定しています。

4. 採件数

採択件数と事務局が負担する経費については、以下の通りとします。

枠組み・採択件数	事務局が負担する経費
① ワークショップ等の開催 (4件程度)	・ワークショップ等実施経費の一部(300,000円を上限) ・具体的には、募集告知ツール制作費、借上げ費、指導者・講師謝金、指導者・講師旅費、消耗品費等 ※人件費は対象外

② プロモーション映像の制作 (①の採択案件のうち、2件程度)	・映像の取材・撮影・編集費の全額 ※取材に際しての現地調整等は、応募者負担
------------------------------------	--

5. 応募方法 別紙様式「応募申請書」に必要事項を記入のうえ、**2020年7月17日（金）**までに、(公社)国土緑化推進機構 政策企画部宛（E-mail：fore-sapo@green.or.jp）まで送付してください。なお、追加情報の提供を依頼する場合があります。
6. 審査方法 応募された内容を、有識者による検討委員会（参考2）において審査し、概ね7月下旬までに採択案件を決定します。
7. 留意事項
- 採択決定後、「モデル事業実施地域 担当者向け会議」（オンライン）において、ワークショップや映像制作等の内容等について事務局と打ち合わせを行い、「実施計画書」の提出を経て、実施内容を固めることになります。この課程で、ワークショップ等の内容等について、追加、変更を求める場合があります。
 - ワークショップ等は、既存のプログラムをベースとしても構いませんが、複数の要素を繋ぎ、面的なストーリーを構築していただくことが望まれます。
 - 「木の文化」を活かした「木のおもてなし」の趣旨を鑑みて、観光需要増大や地域材利用の推進、地方創生等に寄与する取組とすることが望まれます。
 - 採択された事例については、映像、写真、各種情報をブックレットやウェブサイトに掲載し、公表します。
8. お問合せ先 (公社)国土緑化推進機構 政策企画部（担当：木俣・富永）
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 砂防会館別館 5 階
E-mail：fore-sapo@green.or.jp
- (株)ユニバーサルデザイン総合研究所（担当：高橋）
〒105-0004 東京都港区新橋 2-13-6 新橋 862 ビル 8F
E-mail：omotenashi@udinet.com
- ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、テレワークで業務を行っているため、E-mail でお問合せ下さい。

《参考1》地域内の「木の文化」を活かした「木のおもてなし」要素（例）

- ・地域に根差した木の文化と伝統工芸、伝統文化が連動、連携しているもの
（例：漆器、指物、寄木細工、桶・樽、木彫、その他木工全般など）
- ・地域に根差した木の文化と飲食が連動、連携しているもの
（例：酒、味噌、醤油、発酵食品、食器、飲食店舗など）
- ・地域に根差した木の文化と宿泊施設や運輸・交通が連動・連携しているもの
（例：旅館、ホテル、民泊、駅、鉄道、船舶、その他移動手段など）
- ・地域に根差した木の文化と文化交流施設が連動、連携しているもの
（例：文化・観光施設、交流施設、商業施設など）
- ・地域に根差した木の文化とまちづくりが連動、連携しているもの
（例：観光拠点、公共空間、各種コミュニティなど）

《参考2》検討委員会（敬称略。2019年の実績）

涌井雅之（岐阜県立森林文化アカデミー 学長、造園家・ランドスケープアーキテクト）
 隈 研吾（建築家）
 デービッド・アトキンソン（小西美術工藝社社長、日本文化財研究家）
 水戸岡鋭治（デザイナー、ドーンデザイン研究所代表）
 赤松 明（ものづくり大学学長、木材加工学）
 戸村 亜紀（クリエイティブディレクター）
 国際観光施設協会（関連団体）
 日本観光振興協会（関連団体）
 日本旅行業協会（関連団体）

《参考3》「木の文化」を活かした「木のおもてなし」のガイドブック・コンセプト映像等

2018・2019 年度に制作した標記成果物については、以下サイトにも掲載しておりますので、こちらをご覧ください、取組内容をご検討ください。

○国土緑化推進機構公式サイト内「木の文化」を活かした「木のおもてなし」特設ページ

<http://www.green.or.jp/topics/omotenashi/>



2020 年 月 日

(公社)国土緑化推進機構 宛

(株)ユニバーサルデザイン総合研究所 宛

2020 年度 林野庁補助事業
『「木の文化」の発信・「木のおもてなし」の提案』事業
モデル地域 応募申請書

申請主体				
連携組織名 (※1)				
プロジェクト名 (仮称でも可)				
実施形態	*該当するものにチェックして下さい ☐ 「①拠点施設型」 ☐ 「②周遊ツアー型」 ☐ 「③都市地方連携型」			
実施場所				
	中核となる「木のおもてなし」体験施設等			
プロモーション映像の制作	(希望する・希望しない)			
提案内容 (※2) (①～⑤の詳細 を記した WEB サイト等も ご記入下さい)	① 地域の「木の文化」の構成要素と特色、それらを取り巻く概況			
	② 現在、地域で行われている取組・プログラムの概況			
	③ 本事業での取組概要 ※ワークショップ・ツアー等の企画内容			
	④ 本事業終了後の「木のおもてなし」の展開に関する計画			
⑤ 観光需要の増大、地域材利用の促進への貢献の展望				
「木のおもてなし」体感施設等と連携して継続的に実施できるプロモーション手法 (※3)				
ワークショップ等 実施経費の内訳				
担当者	部署・役職		氏 名	
	住 所	〒		
	電 話		FAX	
	E-mail			
備 考				

※1 本事業の実施に際して、連携する「木のおもてなし」体感施設、林業・木材/建築・家具・ものづくり/観光・まちづくりの関係者等を記して下さい。

※2 提案内容 (①～⑤) に関連する資料がありましたら、PDF で送付して下さい。(WEB サイトを記載しているものを除く)

2020年度 林野庁補助事業

『「木の文化」の発信・「木のおもてなし」の提案』事業
モデル地域を募集します!!

歴史・文化施設、観光・交流施設、象徴的な宿泊・飲食施設、アンテナショップ等の「木のおもてなし」体感施設等と農山村地域が連携・協働して、「木の文化」を活かした「木のおもてなし」のモデル的なワークショップ等の開催やプロモーション映像を制作する「モデル地域」を募集します。

「木の文化」の発信・
「木のおもてなし」の提案とは？

- 日本は古来より、生活や生業のあらゆる場面で木を使い、木と親しむ「木の文化」を育んできました。
- 本事業では、日本が培ってきた「木の文化」を活かした多様な「木のおもてなし」について、主に来日観光客等の視点から再評価して、新たな形の「木の文化」と「木のおもてなし」の創造・発信を目指す取り組みを進めています。

これまでの取組は？

- 2018年度には、「木のおもてなし」の考え方、展開モデル等を紹介した「ガイドブック」、「コンセプト映像」、検討委員の「インタビュー映像」を制作しました。
- 2019年度には、地域で「木のおもてなし」を体験する「ワークショップ」開催、「プロモーション映像」の制作、検討委員である隈研吾氏、デービット・アトキンソン氏、涌井史郎氏による「公開座談会」を開催しました。(詳細は下記参照)

お問い合わせ先

(公社)国土緑化推進機構 政策企画部

E-mail: fore-sapo@green.or.jp

*新型コロナウィルス感染症の拡大防止対策として、テレワークにて業務を行っていますので、E-mailにてお問合せ下さい。

「モデル地域」募集概要

対象組織

- ① 「木のおもてなし」体感施設運営組織
- ② 農山村地域の自治体・団体・協議会等
- ③ ①②と緊密に連携・協働して、継続的に「木のおもてなし」の体験・啓発等を担う団体・旅行者・メディア等

主な
支援内容

- ① 試行体験「ワークショップ」開催支援 (上限30万円)
- ② 「プロモーション映像」製作 (制作費を負担)
- ③ 担当者向け研修機会の提供 ほか

実施形態

「木のおもてなし」体感施設等において、多様なプロモーション手法で参加者を募集して、以下の何れか形態の取組を実施。

- ① 拠点施設型
(象徴的な観光・交流・宿泊・飲食施設、地域の森林等で多様な体験を実施)
- ② 周遊ツアー型
(地域外の象徴的な歴史・文化施設等を活用し、地域の「木の文化」等を系統的に体感できるツアーを実施)
- ③ 都市地方連携型
(都市部のアンテナショップ等での展示・体験等で、現地への訪問を促進)

採択件数

4地域程度
(但し、「プロモーション映像」制作は2地域)

応募締切

2020年7月17日(金) 当日必着
(E-mailにて送付)

2018ガイドブック



2019ガイドブック



プロモーション映像



公開座談会 映像



◆募集要項・関連資料はコチラ: <http://www.green.or.jp/topics/omotenashi/>